

2012 年 1 月 1 日～2026 年 7 月 31 日の間に 当科において肺癌の治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「胸部 CT 所見に基づく GGO 主体肺癌における進展予測因子の同定」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学呼吸器外科学 准教授 清水克彦
研究分担者 川崎医科大学呼吸器外科学 臨床助教 杉山浩樹
川崎医科大学呼吸器外科学 臨床助教 松谷隆志
川崎医科大学呼吸器外科学 講師 野島雄史
川崎医科大学呼吸器外科学 講師 最相晋輔

1. 研究の概要

本研究の目的は、胸部薄切 CT により検出されるすりガラス陰影主体の肺腺癌において、術前画像のみを用いて進展リスクを予測するモデルを構築することです。現在、このような病変に対しては経過観察が選択される機会が増加していますが、「経過観察可能な病変」と「早期切除が必要な病変」を区別する客観的指標ははっきりしていません。本研究では、①術前画像のみを用いた臨床応用モデルの構築、②切除した肺癌組織を用いた腫瘍生物学的解析、の二層構造により、「臨床で使える予測」と「その生物学的根拠」を同時に提示することを目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012 年 1 月 1 日～2026 年 7 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において肺癌の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2030 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において肺癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術前の CT 検査や切除標本のデータを選び、すりガラス陰影主体の肺腺癌の増大に関する分析を行い、仕組みについて調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、術前 CT 検査、術前 PET/CT 検査、病理組織レポート、等
試料：手術で摘出した肺癌組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：清水克彦

電話：086-462-1111 内線 2519（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1124

E-mail：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。